

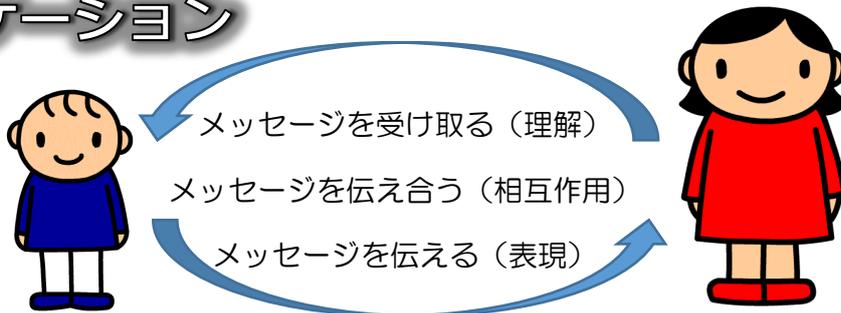
あそびのまなび



9月のテーマ

長浜市児童発達支援センター・こども療育センター

コミュニケーション



コミュニケーションには、上記のような3つの側面があります。
この中でも、一番大事な **メッセージを受け取る（理解）** ことについて紹介します。

子どもが理解できるように伝えるために…

わかるように伝えるためには、まず、子どもの発達の特性を知っておくことが大切です。

感覚の特性

- 必要な音情報だけを選択できにくい。
- 特定の視覚刺激が苦手。
- 見たものに強く影響されやすい。
- 特定の音が苦手、音の違いに敏感。

想像力の特性

- 特定のものへの興味・関心が強く、高い集中力を発揮する。
- 場所、人、予定、習慣になっていることが変化した時に、不安を感じやすいが、パターンを作ることで、取り組みやすくなる。
- 柔軟に考えたり、別のやり方を探したりしにくい。

整理・統合の特性

- さまざまな情報を整理したり、順序立てて考えることが苦手。
- 時間、場所（空間）を整理して考えることが苦手。 など

記憶の特性

- フォトグラフィックメモリー
…場面を写真のように鮮明に覚えている。
- 一度記憶したこと（経験したこと）が消えにくい。
特定のことをよく覚えている。
- ワーキングメモリー（作業記憶）が弱い。

全体よりも細部に注目する特性

- 部分に強く注目しやすい。

* 伝え方のコツ *

- 目で見てわかりやすいように伝えましょう。
実物、写真や絵、身振り、サイン、文字などを使って！！
- なるべく具体的に伝えましょう。
「ちょっと待って」→「5分待って」
「そろそろ帰ろう」→「5時になったら帰ろう」
- 注目するところを知らせたり、どこで何をするのかを知らせたり、空間を整理しましょう。
- いくつかのことを知らせる場合は短く区切って伝えましょう。
「これから3つお話しするよ。
1番……、2番……、3番……。」

わかることを増やすことで…

- 人に伝えたい（表現したい）思いが高まる。
- 自発的な行動が増える。
- 見通しが持てて、安心できる。
などに
つなげていくことを
大切にしています。